

## 計測器 23年の戦略 各社トップに聞く

エヌエフホールディングス

高橋 常夫 会長

エヌエフホールディングス。

ングスはホールディングス制となつて今年で4年目。計測制御デバイス、電源パワー制御、環境エネルギーに、メンテナランスの「校正・修理」を加えた4事業で展開する。

高橋常夫会長は「2022年は種まき、仕込みの年だった」と語り、

## 「環境エネへの貢献」共通目標に

造向け電源も注力する分野の一つだ。水素製造プラントで水を電気分解して水素を製造するには大型の直流電源が必要となる。

このような「共通価値」を軸とした販売活動には、各事業会社が共同で利用する営業プラットフォームが力に期待できる。

23年は主要3事業を貫く「環境エネルギーへの貢献価値」を共通の目標に掲げる。

顧客情報を共有するデータベースに基づき、それぞれの事業会社から営業職員や技術者を融合した製品で新しい価値を提供したいと力を込める。

具体的には高効率化した電気を蓄電し、

22年は原材料の購入価格上昇に伴い、製造コストが大幅に上がったが、内実を踏みとどまった。部材不足による生産方針だ。

源、NF千代田エレクトロニクス

22年は原材料の購入価格上昇に伴い、製造コストが大幅に上がったが、内実を踏みとどまった。部材不足による生産方針だ。

22年は原材料の購入価格上昇に伴い、製造コストが大幅に上がったが、内実を踏みとどまった。部材不足による生産方針だ。

トロンニクス

22年は原材料の購入価格上昇に伴い、製造コストが大幅に上がったが、内実を踏みとどまった。部材不足による生産方針だ。

高橋 会長

といた技術を生かす。新製品の投入を目指す。水電解による水素製造力を注ぐ。

水電解による水素製造力を注ぐ。

22年は原材料の購入価格上昇に伴い、製造コストが大幅に上がったが、内実を踏みとどまった。部材不足による生産方針だ。

